

基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

基本目標別評価集計			
A	B	C	D
26	38	5	0

施策の方向 1 男女平等教育の推進

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
具体的施策 1 小・中学生向け男女平等教育副読本の活用	【事業目的】 小・中学生向け副読本を配付し活用を促すことにより、年少期からの男女平等教育を推進する。また、教職員を対象に研修を実施し、男女平等教育に対する認識を高める。 【事業目標】 小・中学生向け男女平等教育副読本の活用率の向上 小学校 100% 中学校 100%	男女平等教育の副読本を作成し、市内の小・中学生に配付、教師用に「指導の手引き」を作成し配付。 小学校：「はらっぱ」、同「指導の手引き」 ・小学校3、4年生対象(3年時に配付) ・部数 16,000部(16,000部) ・活用率 88.2%(93.0%) 中学校：「わたしらしく生きる」、同「指導の手引き」 ※30年度から使用を開始する「改訂版中学生向け副読本」については、全学年分を配布した。 ・部数 41,000部(14,000部) ・活用率 58.0%(56.5%)	B	市)男女共同参画課 教)学校指導課
中学生のためのキャリアデザイン啓発事業	【事業目的】 子ども頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう男女平等教育を推進する。 【事業目標】 平成28年度から30年度の3年間で全69校でセミナーを実施する。	中学校へ講師を派遣し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを実施。 <実施校> 市立中学校24校(26校) <セミナーの内容> ・男女共同参画の必要性について ・性別にとらわれない将来のキャリアデザインを描くことの大切さについて ・ロールモデルの紹介 ・専門分野・研究分野の説明・体験等を推進する。	1 A	市)男女共同参画課
	基本目標	予算額	29年度 2,458千円	28年度 <2,024千円>
	基本目標	1	1	1
	基本目標	1	1	1
	基本目標	1	1	1

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
男女平等の理念に立った教育課程の編成	【事業目的】 男女平等の理念に立った教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。 【事業目標】 男女平等の理念に立った教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。 【事業目的】 男女平等の理念に立った教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。 【事業目標】 男女平等の理念に立った教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。	各学校において、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等の特質や児童生徒の発達段階に応じて作成する教育指導計画に男女平等教育の視点を適切に位置付けている。 予算額	B	教)学校指導課
職場体験学習	基本目標 【事業目的】 中学校段階において性別にかかわらず、教育活動全体を通じて、キャリア教育を推進する。 【事業目標】 ・中学校における職場体験学習100%実施の継続。 ・生徒のニーズに合う受け入れ事業所の充実。	参加学校及び生徒数 68校11,707名<69校11,740名> 受け入れ事業所 3,122事業所<3,265事業所> 予算額	1 A	教)研修・研究課
家庭科教育の充実	基本目標 【事業目的】 男女が共に家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担果たし、家庭を築いていくことの重要性を認識し、生活に必要な知識・技能を習得させるため、家庭科教育の充実を図る。 【事業目標】 題材目標を明確化した学習の実施100%	【小学校5・6年生】 ○男女ともに、家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担し工夫することを学ばせた。 【中学生】 ○生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせた。 ○家族を構成する男女が、家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を工夫することを学ばせた。 ○生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を習得させた。	1 B	教)研修・研究課
	基本目標	予算額	29年度 298千円	28年度 <317千円>
	基本目標	1	1	1
	基本目標	1	1	1
	基本目標	1	1	1

1 事業名 育児の体験学習	2 事業目的・目標 【事業目的】 幼児に関わる体験を通して、幼児にふさわしい生活を整えるための家庭の役割の理解を深める。 【事業目標】 全中学校69校にて体験活動が実施される。	3 事業実績及び予算額 【中学生】技術・家庭科(家庭分野) ○幼児と触れ合う活動を実施した。 ○生徒対象、幼児と触れ合う直接的な体験を通して、幼児への関心を深め、幼児のかかわり方を工夫する学習を行った。 ○直接の体験ができない学校では、幼児への接し方を考えるロールプレイングやビデオで幼児の行動を観察したりする授業を行っている。 ○幼児の心身の発達の特徴と、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について学ばせた。	4 達成度 B	5 事業実施担当課 教/研修・研究課
学校生活全体にわたっての見直し	基本目標 【事業目的】 学級運営やクラスの係活動における役割分担の見直し、とりわけ中学校における男女混合名の採用促進など、学校生活全般に男女平等の視点を取り入れる。 【事業目標】 男女混合名簿の採用率 小学校100% 中学校100%	予算額 1 28年度 - 具体的な施策 1 1 学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。 ○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成 ○学級の係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し ○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施 ○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施 ○中学校の未採用校への聞き取りと、採用への指導を実施。 ・男女混合名簿の採用率 小学校:100% (99.3%) 中学校:69.6% (58.0%) ・男女平等教育副読本活用率 小学校:88.2% (93.0%) 中学校:58.0% (56.5%)	1 1 28年度 - 具体的な施策 1 1	1 1 28年度 - 具体的な施策 1 1
	基本目標 【事業目的】 学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。 ○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成 ○学級の係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し ○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施 ○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施 ○中学校の未採用校への聞き取りと、採用への指導を実施。 ・男女混合名簿の採用率 小学校:100% (99.3%) 中学校:69.6% (58.0%) ・男女平等教育副読本活用率 小学校:88.2% (93.0%) 中学校:58.0% (56.5%)	1 1 28年度 - 具体的な施策 1 1	1 1 28年度 - 具体的な施策 1 1	

1 事業名 具体的施策 男女平等教育研修会の実施	2 事業目的・目標 【事業目的】 教職員を対象に研修を実施し、男女平等教育に対する認識を高める。 【事業目標】 教職員の男女平等教育研修会の参加率100%	3 事業実績及び予算額 【講演】「小中学校におけるキャリア教育の必要性について」 講師:筑波大学名誉教授 渡辺 三枝子 氏 【報告】「改訂版中学生向け副読本について」 報告者:市民局男女共同参画課 参加者:225人(96.1%) (223人)	4 達成度 A	5 事業実施担当課 教/学校指導課
教頭2年次研修	基本目標 【事業目的】 男女共同参画社会の実現と教頭の役割を自覚し、教頭としての資質能力の向上を図る。 【事業目標】 学校運営を充実させるために、今日的な教育課題への対応及び学校の地域のつながりについて幅広い知見を得るとともに、市行政人としての自覚向上を図る。	予算額 1 28年度 100千円 具体的な施策 1 1 目標を達成するために、各教育機関から情報を集め、男女平等教育の推進に資する講師を選定し、講義を行っている。 実施後には、受講生にアンケートを実施し、受講生のニーズを調査し、次回の研修内容編成に生かしている。 平成29年度講座 テーマ「男女共同参画社会の実現と教頭の役割～男女平等教育の充実に向けて～」 講師 男女共同参画課 課長 藤武 裕子 参加者数 2年次教頭 43人<33人> 研修評価 受講者満足度 98.4%<100%>	1 1 28年度 100千円 具体的な施策 1 1	1 1 28年度 - 具体的な施策 1 1
	基本目標 【事業目的】 保育所職員への研修による、男女平等教育の推進。 【事業目標】 男女平等意識が浸透した社会を目指す。	予算額 1 28年度 - 具体的な施策 1 1	1 1 28年度 - 具体的な施策 1 1	

1 事業名	具体的施策	5 事業実施担当課
2 事業目的・目標	5 区役所、人権啓発センターにおける取組の推進	4 達成度
3 事業実績及び予算額	B	5 事業実施担当課
1 事業名	東区男女共同参画連絡協議会	東)地域支援課
2 事業目的・目標	【事業目的】 ◆男女の固定的な役割分担意識の解消(「男は仕事、女は家庭を守るべき」という固定観念を持たない市民の割合) 男性70% 女性75%	1 「東区男女共同参画連絡協議会」の活動支援 定例会の開催支援(情報提供、資料作成、連絡調整等) ※毎月開催 委員27人、平成30年2月より28人<H28:27人> 講演会、研修会の開催等 ①東区のつどい(講演会等) ※東区青少年育成協議会共催 開催日:平成29年10月28日 参加者:340人<H28:163人> 講演会 ～女性も子どもも防災・復興の主役に!! 地域防災力を高める多様な視点～ 講師 坂田 静香氏 ※後半20分程度、東区青少年育成協議会及び東区男女共同参画連絡協議会の会長、副会長(計5名)と講師による意見交換を実施。 ②地域リーダ一育成研修会 開催日:平成30年2月17日 参加者:97人<H28:84人> 講師:中嶋 玲子氏 ③日本女性会議への東区男女共同参画連絡協議会委員の派遣3人<H28:3人> 開催日:平成29年10月13日～15日 ④広報紙(あい)発行による啓発活動 ⑤その他 生涯学習推進課所管の「男女共同参画社会つくり講座」 に東区男女共同参画連絡協議会が協力 開催日:平成29年9月11/22/29日 参加者336人<H28:339人>
3 事業実績及び予算額	29年度 725千円 28年度 <746千円>	予算額
基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策
基本目標	1 施策の方向	3 具体的施策
基本目標	3 施策の方向	2 具体的施策
基本目標	6 施策の方向	1 具体的施策

1 事業名	博多区男女共同参画代表者会 活動支援及び校区活動の支援	5 事業実施担当課
2 事業目的・目標	【事業目的】 校区が主体となった男女共同参画の推進。 【事業目標】 地域における男女共同参画の意識を高め、女性リーダーの育成と活躍を支援し、女性が安心して暮らせる社会を目指す。	4 達成度
3 事業実績及び予算額	B	5 事業実施担当課
1 事業名	博多区男女共同参画代表者会 活動支援及び校区活動の支援	博)企画振興課
2 事業目的・目標	①役員会及び定例会 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 年4回 <4回> ②男女共同参画講演会(研修会) 講演者:マ:私の経営理念 ～人を活かす経営～ 講師:(株)ふくくや 川原 正孝氏 対象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、公民館長・主事、空港周辺共同利用会館長 ③日本女性会議への参加 参加者4名 <2名> ④区男女共同参画代表者会と自治協議会との意見交換会 講師:佐藤 倫子氏 「第3プロック」参加者40名 「第2プロック」参加者57名 ⑤視察研修 参加者34名 <34名> 視察先:朝倉グリーンツーツーリズム協議会 会長 矢野 公子氏 ⑥各校区の情報共有 各校区の広報紙(年間事業報告など)を一つにまとめて贈り、各校区にて保有。 ⑦区事業への協力参加 博多区市民とんたく隊への参加 15名<15名> ※/ハレードは雨天中止 ⑧他団体事業への参加 「人権を尊重する市民の集い」実践報告 ・活動報告 ・朗読劇「料理を作る男」「男女共同参画社会ですから」 ・男女共同参画に関するO×クイズ(10問)	
3 事業実績及び予算額	29年度 672千円 28年度 <742千円>	予算額
基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策
基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策
基本目標	6 施策の方向	1 具体的施策

1 事業名 南区男女共同 参画連絡会活 動支援及び校 区活動の支 援	2 事業目的・目標 【事業目的】 校区における男女 共同参画の推進 【事業目標】 ・校区が主体的に 活動するため、情 報交換や交流の場 を支援していく。 ・校区状況に即し た支援を行うため 校区状況の把握に 努めるとともに、世 情に合った情報交 信を行っていく。	3 事業実績及び予算額 ①定例会、役員会の開催(月1回) ②委員研修会 6月6日(火)「地域活動に男女共同参画の視 点を」 講師：宮崎 岳彦氏(アミカス副館長) ③日本女性会議2017とまこまいへ委員1名派遣 10月13日(金)～14日(土) ④中央区安全・安心フェスタ2017へブース出展 11月25日(土) 九電記念体育館 ブースへの来場者：約450名 ⑤中央区自治協議会等代表者会との意見交換会 12月21日(木) 基調講演「当事者目線での地域防災につい て」 講師：アシリナーター：佐藤 倫子氏 意見交換会参加者：53名 ⑥区主催事業 地域活動応援事業「企画・広報講座」全3回 10月6日(金)、20日(金)、11月2日(木) ⑦区事業への協力参加 中央区どんたく隊パレード ※パレードは雨天 中止 市二役等歓迎セレモニー	4 達成度 B	5 事業実施担当課 中)企画振興 課												
					<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>29年度 984千円</td> <td>28年度 <1033千円></td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>1 施策の方向</td> <td>2 具体的施策</td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>3 施策の方向</td> <td>3 具体的施策</td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>6 施策の方向</td> <td>1 具体的施策</td> </tr> </table>	予算額	29年度 984千円	28年度 <1033千円>	基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策	基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策	基本目標	6 施策の方向
予算額	29年度 984千円	28年度 <1033千円>														
基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策														
基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策														
基本目標	6 施策の方向	1 具体的施策														
南区男女共同 参画連絡会活 動支援及び校 区活動の支援	【事業目的】 平成20年度に南 区男女共同参画連 絡会を設立。校区 主体で男女共同参 画を推進していくこ とを目的としてい る。 【事業目標】 区は連絡会の事 務局として支援を 行うとともに、地域 活動サポート講座 等の区主催事業を 実施し、校区にお ける男女共同参画 推進活動の充実を 目指す。	全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グ ループワークなどを実施した。 1. 区主催事業 2月に開催を予定していたが、講師の都合に より中止となった。 2. 南区男女共同参画連絡会の活動支援 ①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校 の意見を集約 ②学習会 年5回実施(6月、7月、9月、12月、1 月) 「防災」等、身近なテーマから男女共同参画につ いて考えるものや、今後の活動の参考とするた め、各校区の現状等に関する意見交換を実施し た。うち、6月は新委員対象の研修会を実施。 ③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎により細やかな情報・意見を共有し た。 ④役員会 年5回開催	<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>29年度 798千円</td> <td>28年度 <807千円></td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>1 施策の方向</td> <td>2 具体的施策</td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>3 施策の方向</td> <td>3 具体的施策</td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>6 施策の方向</td> <td>1 具体的施策</td> </tr> </table>	予算額	29年度 798千円	28年度 <807千円>	基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策	基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策	基本目標	6 施策の方向	1 具体的施策	南)企画振興 課
予算額	29年度 798千円	28年度 <807千円>														
基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策														
基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策														
基本目標	6 施策の方向	1 具体的施策														

1 事業名 城南区男女共 同参画連絡会 活動支援及び 校区活動の支 援	2 事業目的・目標 【事業目的】 校区における男女 共同参画の推進。 【事業目標】 ・各校区の自治協 議会において、男 女共同参画を推進 する活動が実施で きるよう支援する。 ・地域活動におい て、男女が共に、 指導的立場に立つ て幅広く活躍でき るよう支援する。	3 事業実績及び予算額 1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援 (1)定例会(10回) 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提 供、学習会。 (2)啓発 校区団体活動紹介パネルの展示等 2 区主催事業 (1)委員研修 テーマ：「男女共同参画ってなあに？」 講師：宮崎 岳彦氏(福岡市男女共同参画推進 センター・アミカス副館長) 対象：各校区男女協委員 参加者数：74名(70名) (2)日本女性会議への派遣 参加者数：2名(2名) (3)講演会及び日本女性会議報告会 I部 日本女性会議報告会 II部 講演会 テーマ：「災害に強い地域づくり～多様性配慮 の視点とは～」 講師：坂田 静香氏(特定非営利活動法人 男女共同参画おおた理事長) 対象：各校区男女協委員、自治協関係者、 公民館職員等 参加者数：100名(130名)	4 達成度 B	5 事業実施担当課 城)地域支援 課								
					<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>29年度 961千円</td> <td>28年度 <961千円></td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>1 施策の方向</td> <td>2 具体的施策</td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>3 施策の方向</td> <td>3 具体的施策</td> </tr> <tr> <td>基本目標</td> <td>6 施策の方向</td> <td>1 具体的施策</td> </tr> </table>	予算額	29年度 961千円	28年度 <961千円>	基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策	基本目標
予算額	29年度 961千円	28年度 <961千円>										
基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策										
基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策										
基本目標	6 施策の方向	1 具体的施策										

1 事業名 男女共同参画社会づくり講座	2 事業目的・目標 【事業目的】 男女が互いにその人権を尊重しながら責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会の実現のため家庭や地域、職場で実践できることを考える 【事業目標】 市民センターにおける男女共同参画講座・講演会の実施(東区のみ主催事業を実施している)	3 事業実績及び予算額 男女共同参画社会づくり講座 ○ 第1回(9/1) 「男女が生き生きと暮らせるまちづくり」～区長と語る～ 東区長 小西 真弓 ○ 第2回(9/22) 地域の活動報告 東箱崎校区・青葉校区・多々良校区 各校区代表者 ○ 第3回(9/29) 初の女性駅長(新幹線博多駅)として JR西日本旅客鉄道株式会社新幹線博多駅 駅長 富澤 五月 参加者人数 全3回:300名(全3回:287名)	4 達成度 A	5 事業実施担当課 東/生涯学習 推進課			
			予算額	29年度 40千円	28年度 38千円	5	
			1	2	2	2	2
市民センターにおける男女共同参画講座・講演会	【事業目的】 校区男女共同参画推進活動の活性化。 【事業目標】 聴講者のうち、講演会によって男女共同参画に対する理解が深まったと回答した人の割合が70%以上。 ①男女共同参画クイズ ②寸劇「その時、誰もが安心できるために」 ③一人芝居「涙と笑い男女共同参画物語」 講師:福永 宅司さん(子どもの学び館代表取締役) (4)「地域活動と男女共同参画」パネル展 ・聴講者アンケート124名中「男女共同参画への理解が深まった」と回答(85.5%)	1	2	2	2	2	2
基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標
早/地域支援 課	早/地域支援 課	早/地域支援 課	早/地域支援 課	早/地域支援 課	早/地域支援 課	早/地域支援 課	早/地域支援 課

1 事業名 人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」	2 事業目的・目標 【事業目的】 12月4日から10日週間と位置づけ、福岡市人権尊重推進委員会(35機関・団体)が中心になって、「部落差別をはじめ一切の差別のない明るいまちづくり」を推進すべく実施するもの。 【事業目標】 福岡市人権尊重週間行事に関するアンケートにおける「大変満足だった」「まあ満足だった」の割合85.0%	3 事業実績及び予算額 各区において人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」を実施。 参加者数 2,306人(2,572人)<講演満足度(アンケートにおける「大変満足だった」「まあ満足だった」の割合) 87%<88.8%>	4 達成度 A	5 事業実施担当課 市/人権啓発 センター			
			予算額	29年度 2,732千円	28年度 <2,732千円>	5	
			1	2	2	2	
人権総合講座	【事業目的】 市民一人ひとりの人権が真に尊重される社会の実現を目指し、人権意識の高揚を図るため、市民を対象に、日頃から人権問題を自分自身の問題として捉え、人権に関わる問題を総合的に学ぶことが出来る機会を提供するもの。 【事業目標】 「よく理解できた」「だいたい理解できた」人の割合を90%以上にす。	人権意識の高揚を図るための講座を実施。 参加者数 延べ274人(全6回)<延べ239人(全6回)> 受講者の理解度 95.4%<88.5%>	1	2	2	2	2
基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標	基本目標
市/人権啓発 センター	市/人権啓発 センター	市/人権啓発 センター	市/人権啓発 センター	市/人権啓発 センター	市/人権啓発 センター	市/人権啓発 センター	市/人権啓発 センター

1 事業名	具体的施策 6 公民館における取組の推進	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
公民館における男女共同参画学習講座	公民館主催事業における男女共同参画の推進。 【事業目的】公民館主催事業による男女共同参画の推進。 【事業目標】公民館主催事業(男女共同参画講座)実施館数の増加。	公民館主催事業において、男女共同参画学習講座を実施。 公民館数 45館 (43館) 回数 159回 (174回) 参加人数 4,716人 (4,867人)	B	市)公民館支援課
		予算額 58,176千円の一部 <54,980千円の一部> 28年度 2 具体的施策 1 具体的施策	6	
		基本目標 6 基本目標 55	55	
1 事業名	具体的施策 7 男女共同参画に関する調査・研究	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
男女共同参画社会に関する市民意識調査	【事業目的】男女共同参画の現状を把握し、今後の男女共同参画推進のための施策を実施する上での基礎資料とする。 【事業目標】施策に反映できる、より有効な調査項目を検討し、実施する。	男女共同参画に係る施策を展開する上での基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ○平成25年度調査 (調査期間:平成25年8月30日～9月17日) ・調査対象者数 4,500人 ・回収率 43.3% ・設問数 21問	—	市)男女共同参画課
		予算額 29年度 28年度 1 具体的施策 2 具体的施策	7	
		基本目標 1 基本目標 7	7	
女性労働実態調査	【事業目的】事業所における従業員の就業実態を把握し、今後の男女共同参画推進のための施策を実施する上での基礎資料とする。 【事業目標】施策に反映できる、より有効な調査項目を検討し、実施する。	市内事業所における従業員の就業実態を把握し、男女共同参画に係る施策を展開する上での基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ○平成26年度調査 1. 郵送調査 (1)調査期間:平成26年11月27日～12月16日 (2)調査対象 ①市内事業所:2,000社(回収率 30.9%) ②女性従業員:4,000人(回収率 29.3%) ③男性従業員:4,000人(回収率 26.3%) ④パートタイム労働者:2,000人(回収率15.9%) 2. インタビュー調査 (1)企業インタビュー ①調査期間:平成26年12月22日～平成27年1月25日 ②調査対象:市内事業所の経営者人事部門50社 (2)従業員インタビュー ①調査期間:平成26年12月20日～21日 ②市内で働く人:50人(男性25人 女性25人)	—	市)女性活躍推進課
		予算額 29年度 28年度 1 具体的施策 2 具体的施策	7	
		基本目標 1 基本目標 7	7	

1 事業名	男女共同参画データベースの作成	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
地域における男女共同参画活動の支援。	【事業目的】地域における男女共同参画活動の支援を目的とする。 【事業目標】地域における男女共同参画活動に役立つ情報の提供を目指す。 基本目標 1 基本目標 7	隔年で29年度は作成なし。(28年度1,000部作成)	29年度 28年度 — (56,050千円の一部) 2 具体的施策 1 具体的施策	—	市)事業推進課
		地域における男女共同参画活動の支援。	校区的な取り組みをアミカスホームページに掲載。 基本目標 1 基本目標 A	7	市)事業推進課
		地域における男女共同参画活動の支援。	【事業目的】地域における男女共同参画活動に役立つ情報の提供を目指す。 基本目標 1 基本目標 7	7	
		地域における男女共同参画活動の支援。	【事業目的】地域における男女共同参画活動に役立つ情報の提供を目指す。 基本目標 1 基本目標 54	54	
1 事業名	具体的施策 8 男女共同参画に関する広報と情報提供	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
ユニバーサルデザインに配慮した印刷物の周知	【事業目的】市が発行する印刷物をユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成したものの周知。 【事業目標】「ユニバーサルデザイン」に配慮した印刷物作成の手引きの周知を図る。	平成21年10月に「ユニバーサルデザイン」に配慮した印刷物を作成した。また、市職員を対象とした研修を実施し、手引きの内容説明及び実際の印刷物をしながらアドバイスを行った。 研修参加者 計 250名 (250名) また、全庁OA(市職員向け)に手引きを掲載し、全課に周知している。	29年度 28年度 55,994千円の一部 2 具体的施策 6 1 具体的施策	B	市)広報課
		【事業目的】「ユニバーサルデザイン」に配慮した印刷物作成の手引きの周知を図る。	29年度 28年度 — 2 具体的施策 1 具体的施策	8	
		【事業目的】「ユニバーサルデザイン」に配慮した印刷物作成の手引きの周知を図る。	29年度 28年度 — 3 具体的施策	11	

1 事業名 ユニバーサル都市・福岡の推進	2 事業目的・目標 【事業目的】 年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとってやさしいまち「ユニバーサル都市・福岡」の実現。 【事業目標】 ・ユニバーサルデザインの概念の理解度：65%（平成32年度） ・ユニバーサルデザインの取組みへの評価：58%（平成32年度）	3 事業実績及び予算額			4 達成度 B	5 事業実施担当課 総務部	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル都市・福岡賞の実施 ・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの開催 ・公共交通機関等における一斉PR ・外国人向けのトイレマナーを記載したロゴマークの作成・配布 ・入りの啓発ステッカーの作成・配布 ・小学4年生向け副読本の作成・配布 ・小学生、中学生、高校生を対象とした出前講座等の実施 					
		予算額	29年度 10935千円	28年度 < 34,250千円 >			
		基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策			8
行政広報物における表現のガイドラインの周知	【事業目的】 行政広報物の作成において、固定観念にとらわれない、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現を促す。 【事業目標】 市職員が必要に応じて閲覧できるように全庁OA等を活用し周知を図っていく。	1 行政広報物における表現のガイドラインを全庁OA（市職員向け）に掲載し、周知している。同製作（平成19年改訂） 印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。			50	市）男女共同参画課	
		予算額	29年度 —	28年度 —			
		基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策	8		
		基本目標	1 施策の方向	3 具体的施策	11		

1 事業名 市政だよりによる広報	2 事業目的・目標 【事業目的】 男女共同参画の必要性を広く市民が共感できるように、様々な情報提供を行う。 【事業目標】 効果的なタイミングに広報を行うように工夫する。	3 事業実績及び予算額			4 達成度 A	5 事業実施担当課 市）男女共同参画課、女性活躍推進課	
		<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 ・広報実績 計20回掲載<計19回> ・市男女共同参画週間「みんなまで参画ウィーク」の周知(11/1号) ・女性の視点を活かした防災ミニブック(10/15号) ・ふくおか女性活躍NEXT企業 見える化サイトの周知・掲載、企業募集 1回(9/15号)<2回(6/15・9/1号)> ・一般事業主行動計画策定支援セミナー&フォーラムの周知 1回(7/1号) ・3回(6/15、9/1、11/1号)> ・女性活躍推進や働き方改革に関するフォーラムの周知 1回(9/15号) <1回 (9/1号)> 					
		予算額	29年度 —	28年度 —			
		基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策			8
市ホームページでの情報提供	【事業目的】 男女共同参画の必要性を広く市民が共感できるように、様々な情報提供を行う。 【事業目標】 関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすい、分かりやすいホームページとなるよう工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の男女共同参画及び女性活躍推進にかかる情報に関して、福岡市ホームページ及び福岡市の男女共同参画ホームページにて情報を発信している。 ・福岡市トップページ→くらし・手続き→人権・男女共同参画 (29年度の主な掲載内容) ・男女共同参画基本計画(第3次) ・男女共同参画審議会 ・男女共同参画推進協議会 ・女性の視点を活かした防災ミニブック ・ふくおか女性活躍NEXT企業 見える化サイトの創設・掲載、企業募集 ・一般事業主行動計画策定支援セミナー&フォーラムの周知 ・女性活躍推進や働き方改革に関するフォーラムの周知 ・社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業)の申請受付 					
		予算額	29年度 —	28年度 —			
		基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策	8		
		基本目標	4 施策の方向	2 具体的施策	44		

1 事業名 広報啓発紙の発行	2 事業目的・目標 【事業目的】 男女共同参画に関する広報・啓発を行う。 【事業目標】 男女共同参画の啓発につながる紙面づくりを目指す。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 A	5 事業実施担当課 市)事業推進課
		アミカスタイムズの発行 年3回 7,000~5,000部 (年3回 7,000~5,000部)			
1 事業名 アミカス図書室による情報の提供	2 事業目的・目標 【事業目的】 男女共同参画やジェンダー(社会的性別)に関する基礎文献資料の充実を図る。 【事業目標】 固定的性別役割分担意識が解消され、誰もが個性と能力を發揮するための情報を提供する。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 B	5 事業実施担当課 市)事業推進課
		アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:月1回 発行部数:900部<900部>			
1 事業名 アミカス地域支援事業	2 事業目的・目標 【事業目的】 地域における男女共同参画を推進 【事業目標】 派遣件数60件を目指す。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 C	5 事業実施担当課 市)事業推進課
		男女共同参画推進サポーター派遣事業 9件 162名受講 (10件 290名受講) 寸劇隊派遣事業 13件 481名受講 (22件 747名受講) 校区男女協と校区諸団体との連携支援事業 12件 480名受講 (10件 397名受講) 男女共同参画活動コーディネート派遣事業 3校区 (7校区) 男女共同参画つうしん 偶数月発行			

1 事業名 出前講座	2 事業目的・目標 【事業目的】 男女共同参画社会や本市施策について、周知を図る。 【事業目標】 受講者の満足度の向上を図る。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 -	5 事業実施担当課 市)男女共同参画課
		※平成29年度については、申し込みなし 実施回数 0件(7件) 参加者数 0人(209人) 受講者の満足度 -<96.9%>			
1 事業名 出前講座	2 事業目的・目標 【事業目的】 地域における男女共同参画を推進。 【事業目標】 受講者の理解向上を促す。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 A	5 事業実施担当課 市)事業推進課
		・出前講座 11校区 325名受講 (10件 203名受講) 受講者の満足度98%			
1 事業名 インターネットによる広報(アミカスホームページなど)	2 事業目的・目標 【事業目的】 アミカスの施設案内や、アミカス事業の情報を発信する。 【事業目標】 ホームページのアクセス件数250,000件、メールマガジンの登録者数1,500件を目指す。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 B	5 事業実施担当課 市)事業推進課
		ホームページ アクセス件数 224,981件<215,103件> メールマガジン 登録者数 1,487件<1,414件> フェイスブックによる広報			
1 事業名 情報提供事業	2 事業目的・目標 【事業目的】 地域等における男女共同参画を推進 【事業目標】 依頼に対し適切な人材を紹介する。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 A	5 事業実施担当課 市)事業推進課
		・地域等で男女共同参画を推進し、女性の参画を促進するため、アミカスの人材情報を提供。 4件 5人紹介 (2件 5人紹介)			

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
ココロセンターだより	【事業目的】 センターの事業紹介をはじめ、人権啓発情報提供を提唱し、市民の人権意識の向上を図る。 【事業目標】 センターの季刊紙として定着しており、今後ともセンターの事業紹介や様々な人権啓発の情報発信ができる魅力ある紙面づくりを図り、市民啓発を推進する。	・6月、9月、12月、3月の年4回発行 ・発行部数各4,000部(4,000部) ・ハートフルフェスタや人権尊重週間行事、人権啓発推進指導員のコラム、ココロセンター紹介、ココロキヤンパス等実施事業の特集記事や人権啓発地域推進組織の取組紹介等を行った。 ・配布先:公民館、市民センターなど、市の公共施設	A	市)人権啓発センター
ラジオ番組「こころのオルゴール」	【事業目的】 マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発。 【事業目標】 わかりやすい番組内容より興味をひく話題を提供することにより、市民の人権意識の向上をはかる。	・様々な人権問題をテーマにしたシナリオを全22本制作し、民放ラジオ2局で65回放送した。 うち、女性に関する問題をテーマとしたもの1本(2本)制作 3回(4回)放送	B	市)人権啓発センター
まなびアイふくおか」による広報	【事業目的】 ホームページ「まなびアイふくおか」、情報誌「まなびアイふくおか」、市政だより等を通じて、福岡市の様々な機関・団体が開催する男女共同参画に関する事業を紹介する。 【事業目標】 役立つ情報の提供を目指す。	【福岡市学習情報提供システム、まなびアイふくおか(ホームページ)の講座・イベント・情報、情報誌「まなびアイふくおか」及び市政だより等のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 1. ホームページアクセス数 1,153,864件(1,260,424件) 2. 情報誌 ・発行回数:年3回(年3回) ・発行部数:年3,375部(3,367部) ・配布先:情報プラザ、区役所、市民センター、総合図書館等	A	教)生涯学習課
	基本目標	29年度 9,000千円 28年度 9,000千円	8	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	8	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	11	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	8	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	11	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	8	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	11	

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
具体的施策 9 市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働	【事業目的】 市民グループの活動を支援することにより、男女共同参画の認識を深め、男女共同参画社会の実現を促進。 【事業目標】 イベント部門40企画を支援。	29年度 1,286千円 28年度 1,864千円	B	市)事業推進課
市民グループ活動支援事業(アマカス)	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	3	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	9	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	12	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	13	
	基本目標	2 施策の方向 2 具体的施策	29	
	基本目標	3 施策の方向 2 具体的施策	35	
	基本目標	3 施策の方向 2 具体的施策	39	
アミカス地域支援事業	【事業目的】 地域における男女共同参画を推進。 【事業目標】 派遣件数60件を目指す。	・男女共同参画推進サポーター派遣事業 9件 162名受講(10件 290名受講) ・寸劇隊派遣事業 13件 481名受講(22件 747名受講) ・校区男女協と校区諸団体との連携支援事業 12件 480名受講(10件 397名受講) ・男女共同参画活動コーナー・ネイター派遣事業 3校区(7校区) ・男女共同参画つうしん 偶数月発行	C	市)事業推進課
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	4	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	8	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	9	
	基本目標	6 施策の方向 1 具体的施策	54	
	基本目標	6 施策の方向 1 具体的施策	55	
	基本目標	6 施策の方向 2 具体的施策	57	
男女共同参画講座(男女共同参画基礎講座)	【事業目的】 地域における男女共同参画を推進。 【事業目標】 地域における男女共同参画の浸透を図る。	男女共同参画基礎講座 ・寸劇出演:福岡市男女共同参画推進サポーター ・講演会講師:大竹 文雄氏(大阪大学経済研究所教授) ・定員:200人 ・参加者:284人(251人)	A	市)事業推進課
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	3	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	4	
	基本目標	1 施策の方向 2 具体的施策	9	

施策の方向 3 市民等との連携・共働の推進

1 事業名 人権啓発センター利用登録団体との共働事業	2 事業目的・目標 【事業目的】 利用登録団体との共働により、効果的な市民啓発を行う。 【事業目標】 「市民・行政共働型」啓発をさらに効果的に推進する。 講演会開催 8団体 交流ブース出展 50団体	3 事業実績及び予算額		4 達成度 B	5 事業実施担当課 市人権啓発センター		
		ハートフルフェスタ福岡2017の実施に向け企画委員会を中心に、「市民・行政共働型」イベントとして内容を創意工夫するとともに、利用登録団体の自主性を尊重して事業を実施した。 利用登録団体による講演会開催 人権啓発センター研修室等 5団体<9団体> 利用登録団体による交流ブース等出展市役所西側ふれあい広場 34団体<43団体>				29年度 8,000千円	28年度 8,000千円
		予算額	1			29年度 8,000千円	28年度 8,000千円
		基本目標	1			自治協議会共創補助金の交付を通して、自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。 補助金交付団体数 150/150団体<149/149団体> ※29年度 150団体のうち149団体については自治協議会へ交付、残り1団体については各種団体へ交付。	9 A
共創自治協議会事業	【事業目的】 自治協議会共創補助金の交付を通して、自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みが推進される。 【事業目標】 各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	3 事業実績及び予算額		4 達成度 B	5 事業実施担当課 市人権啓発センター		
		ハートフルフェスタ福岡2017の実施に向け企画委員会を中心に、「市民・行政共働型」イベントとして内容を創意工夫するとともに、利用登録団体の自主性を尊重して事業を実施した。 利用登録団体による講演会開催 人権啓発センター研修室等 5団体<9団体> 利用登録団体による交流ブース等出展市役所西側ふれあい広場 34団体<43団体>				29年度 521,875千円	28年度 <521,722千円>
		予算額	1			29年度 521,875千円	28年度 <521,722千円>
		基本目標	1			自治協議会共創補助金の交付を通して、自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みが推進される。 補助金交付団体数 150/150団体<149/149団体> ※29年度 150団体のうち149団体については自治協議会へ交付、残り1団体については各種団体へ交付。	9 A

1 事業名 東区男女共同参画連絡協議会活動の支援	2 事業目的・目標 【事業目的】 男女共同参画推進活動が校区全体の取組みとして行われ、意思決定過程に男女が共に参画し、男女共同参画の視点上立った地域の自治が行われること 【事業目標】 ◆男女の固定的な役割分担意識の解消度(「男は仕事、女は家庭を守るべき」という固定観念を保持しない市民の割合) 目標値 男性70% 女性75%	3 事業実績及び予算額		4 達成度 B	5 事業実施担当課 東区地域支援課		
		1 東区男女共同参画連絡協議会「活動支援定例会」の開催支援(情報提供、資料作成、連絡調整等) ※毎月開催 委員27人、平成30年2月より28人<H28:27人> 講演会、研修会の開催等 ①東区のとしい(講演会等) ※東区青少年育成協議会共催 開催日:平成29年10月28日 参加者:340人<H28:163人> 講演会 ～女性も子どもも防災・復興の主役!!～ 地域防災力を高める多様な視点～ 講師 坂田 静香氏 ※後半20分程度、東区青少年育成協議会及び東区男女共同参画連絡協議会の会長・副会長(計5名)と講師による意見交換を実施。 ②地域リーダー育成研修会 開催日:平成30年2月17日 参加者:97人<H28:84人> 講師:中嶋 玲子氏 ③日本女性会議への東区男女共同参画連絡協議会委員の派遣3人<H28:3人> 開催日:平成29年10月13日～15日 ④広報紙(あい)発行による啓発活動 ⑤その他 生涯学習推進課所管の「男女共同参画社会づくり講座」 に東区男女共同参画連絡協議会が協力 開催日:平成29年9月1/22/29日 参加者336人<H28:339人>				29年度 729千円	28年度 <746千円>
		予算額	1			29年度 729千円	28年度 <746千円>
		基本目標	1			東区男女共同参画連絡協議会が協力の方向	2
	基本目標	3	実施の方向	2	具体的施策		
	基本目標	6	実施の方向	1	具体的施策		
					54		

1 事業名 博多区男女共同参画代表者会活動支援及び校区活動の支援	2 事業目的・目標 【事業目的】 校区が主体となった男女共同参画の推進。 【事業目標】 地域における男女共同参画の意識を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、女性が共に支えあっている社会を目指す。	3 事業実績及び予算額 ①役員会及び定例会 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 年4回 <4回> ②男女共同参画講演会(研修会) 講演テーマ:私の経営理念 ~人を活かす経営~ 講師:(株)ふくや 川原 正孝氏 対象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、公民館長・主事、空港周辺共同利用会館長 ③日本女性会議への参加 参加者4名 <2名> ④区男女共同参画代表者会と自治協議会との意見交換会 講師:佐藤 倫子氏 「第3ブロック」参加者40名 「第2ブロック」参加者57名 ⑤視察研修 参加者34名 <34名> 視察先:朝倉グリーンツーム協議会 会長 矢野 公子氏 ⑥各校区の情報共有 各校区の広報紙(年間事業報告など)を一つにまとめて配り、各校区にて保有。 ⑦区事業への協力参加 博多区市民とんたく隊への参加 15名<15名> ※ハレードは雨天中止 ⑧他団体事業への参加 「人権を尊重する市民の集い」実践報告 ・活動報告 ・朗読劇「料理を作る男」「男女共同参画社会ですから」 ・男女共同参画に関するO×クイズ(10問)	4 達成度 B	5 事業実施担当課 博)企画振興課
		予算額	29年度 672千円	28年度 <742千円>
		基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策
		基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策
		基本目標	6 施策の方向	1 具体的施策
		54		

1 事業名 中央区男女共同参画連絡会活動支援及び校区活動の支援	2 事業目的・目標 【事業目的】 校区における男女共同参画の推進 【事業目標】 ・校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。 ・校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情に合った情報発信を行っていく。	3 事業実績及び予算額 ①定例会、役員会の開催(月1回) ②委員研修会 6月6日(火)「地域活動に男女共同参画の視点を」 講師:宮崎 岳彦氏(アミカス副館長) ③日本女性会議2017とまこまいへ委員1名派遣 10月13日(金)~14日(土) ④中央区安全・安心フェスタ2017へブース出展 11月25日(土) 九電記念体育館 ブースへの来場者:約450名 ⑤中央区自治協議会等代表者会との意見交換会 12月21日(木) 基調講演「当事者目線での地域防災について」 講師:フアンリネーター:佐藤 倫子氏 意見交換会参加者:53名 ⑥区主催事業 地域活動応援事業「企画・広報講座」全3回 10月6日(金)、20日(金)、11月2日(木) ⑦区事業への協力参加 中央区とんたく隊ハレード ※ハレードは雨天中止 市二役等歓迎セレモニー	4 達成度 B	5 事業実施担当課 中)企画振興課
		予算額	29年度 984千円	28年度 <1033千円>
		基本目標	1 施策の方向	2 具体的施策
		基本目標	3 施策の方向	3 具体的施策
		基本目標	6 施策の方向	2 具体的施策
		54		

1 事業名	南区男女共同参画連絡会活動支援及び校区活動の支援	5 事業実施担当課	南)企画振興課
2 事業目的・目標	<p>【事業目的】平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。校区主体で男女共同参画を推進していくことを目的としている。</p> <p>【事業目標】区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、地域活動サポート講座等の区主催事業を実施し、校区における男女共同参画活動の充実を目指す。</p>	4 達成度	B
3 事業実績及び予算額	<p>全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。</p> <p>1. 区主催事業 ①地域活動サポート講座 2月に開催を予定していたが、講師の都合により中止となった。</p> <p>2. 南区男女共同参画連絡会の活動支援 ①全体会 年2回開催(5月、3月) ②学習会 年5回実施(6月、7月、9月、12月、1月)</p> <p>【防災】等、身近なテーマから男女共同参画について考えるものや、今後の活動の参考とするため、各校区の現状等に関する意見交換を実施した。うち、6月は新委員対象の研修会を実施。</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ④役員会 年5回開催</p>	28年度	< 807千円 >
	予算額	29年度	798千円
	基本目標	1	施策の方向
	基本目標	3	施策の方向
	基本目標	6	施策の方向
		2	具体的施策
		3	具体的施策
		2	具体的施策
		1	具体的施策

1 事業名	城南区男女共同参画連絡会活動支援及び校区活動の支援	5 事業実施担当課	城)地域支援課
2 事業目的・目標	<p>【事業目的】校区における男女共同参画の推進。</p> <p>【事業目標】 ・各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施できるよう支援する。 ・地域活動において、男女が共に、指導的立場に立つて幅広く活躍できるように支援する。</p>	4 達成度	B
3 事業実績及び予算額	<p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援 (1)定例会(10回) 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供、学習会。 (2)啓発 校区団体活動紹介パネルの展示等</p> <p>2 区主催事業 (1)委員研修 テーマ:「男女共同参画ってなあに?」 講師:宮崎 岳彦氏(福岡市男女共同参画推進センター・アミカス副館長) 対象:各校区男女協会員 参加者数:74名(70名)</p> <p>(2)日本女性会議への派遣 参加者数:2名(2名)</p> <p>(3)講演会及び日本女性会議報告会 I部 日本女性会議報告会 II部 講演会 テーマ:「災害に強い地域づくり～多様性配慮の視点とは～」 講師:坂田 静香氏(特定非営利活動法人 男女共同参画おおた理事長) 対象:各校区男女協会員、自治協関係者、公民館職員等 参加者数:100名(130名)</p>	28年度	< 961千円 >
	予算額	29年度	961千円
	基本目標	1	施策の方向
	基本目標	1	施策の方向
	基本目標	3	施策の方向
	基本目標	6	施策の方向
		2	具体的施策
		2	具体的施策
		1	具体的施策

1 事業名 早良区男女共同参画をすすめる会活動支援及び校区活動の支援			5 事業実施担当課 早良地域支援課	4 達成度 B	5 事業実施担当課 課
2 事業目的・目標 【事業目的】 校区男女共同参画推進組織において、下記の視点に基いた取組を実施する。 ① 男女共同参画について「考える」機会を提供(研修会・ワークショップ等の開催)。 ② 学びと気づきに努め、その効果を「発信」する(積極的な広報)。 ③ 公民館や校区の各団体との「連携」(諸団体と共同での研修実施)。 ④ 男女共同参画の視点をもって校区行事へ参画。	3 事業実績及び予算額 (1) 全体会(年6回)(6回) 各校区活動報告、情報交換 (2) 委員研修会(2回)(2回) 「地域ですすめよう! 男女共同参画」 講師: 武藤 桐子さん(福岡エンター研究所研究員) 「地域における男女共同参画活動～地域防災を例として～」 講師: 佐藤 倫子さん(市共創地域づくりアドバイザー) (3) プロック別研修会 ① 高取公民館(Dプロック)60名(60名) 「セクマイって知っとんしんやあ～?」 ～性のモノサシから考える男女共同参画社会～ 講師: 藤田 哲章さん(元・アマカス運営係長) ② 大原公民館(Cプロック)60名(60名) 「地域で進めよう! 男女共同参画」 講師: 武藤 桐子さん(NPO法人福岡エンター研究所研究員) ③ 田村公民館(Bプロック)60名(60名) 「寸劇で学ぼう! 男女共同参画～アマカス寸劇隊をお招きして～」 講師: アミカスサポーター ④ 入新公民館(Aプロック)60名(60名) 「地域活動と男女共同参画 私でもよろしければ頑張ります!」 講師: 中嶋 玲子さん (元・福岡県男女共同参画センターあすばる館長) (4) 日本女性会議2017 若小牧 委員1名派遣(2名) 男女共同参画フォーラム(国立女性教育会館・NWEC) 委員2名派遣 (5) 広報誌「かたらい」発行(年2回)(1回) (6) 男女共同参画映画上映会 「彼らが本気で編むときは、」(300名) (7) 早良区男女共同参画講演会(300名)(360名) ① 区男女共同参画をすすめる会 活動報告 ② すすめる会委員によるクイズと寸劇 ③ 一人芝居「涙と笑い男女共同参画物語」 講師: 福永 宅司さん(子どもの学び館代表取締役)	予算額 29年度 1,264千円 28年度 < 1,277千円 >	1 実施の方向 2 具体的施策 3 具体的施策 6 具体的施策	5 9 35 54	

1 事業名 西区男女共同参画をすすめる会活動支援及び校区活動の支援			5 事業実施担当課 西ノ企画振興課	4 達成度 B	5 事業実施担当課 課
2 事業目的・目標 【事業目的】 男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを推進すること。	3 事業実績及び予算額 1. 西区男女共同参画フェスティバル2017 来場者約200名(約310名) ・朗読劇「できるかな? 避難所暮らし」 出演: 西区男女共同参画をすすめる会委員 ・講演会「主役はわたし」 ～避難所からのコミュニケーション形成～ 講師: 熊本県益城町テクノ仮設団地自治会長 吉村 静代氏 2. 西区自治協議会との意見交換・交流会 参加者 41人(自治協: 18人 男女協: 23人) 内容: 男女協の活動の目的や意思決定機関への女性の参画等。 3. 西区人権を考えるついで! 来場者392名(362人) 西区人権尊重連絡会議が主催する「西区人権を考えるついで!」の場を借りて、男女共同参画に関する朗読劇を実施。 4. 日本女性会議2017とまごまい 5. 委員交流・意見交換会 ① 6月委員交流・意見交換会 37名 グループディスカッション「男女共同参画の視点を取り入れた地域防災について」 ② 9月委員交流会・意見交換会 37名(34名) 避難所運営ゲーム、グループディスカッション ③ 3月委員交流会・意見交換会 33名(28名) グループディスカッション「フェスティバル及び今年度の活動全体について」 全体会 6. 全体会(3月委員交流会終了後) 33名(27名) ・全則の改正 ・平成29年度事業報告、平成30年度事業計画 7. 広報紙「なごさ」 53号・54号(各号6750部)発行。 年2回、9月・3月に発行している。 各校区での世帯回覧、校区自治協議会等への配布、公民館等公共施設での配布。 8. 西区男女共同参画推進奨励賞 受賞者: 3名(2名)	予算額 29年度 (1,192千円) 28年度 < 1,252千円 >	1 実施の方向 2 具体的施策 3 具体的施策 6 具体的施策	5 9 35 54	

施策の方向 4 国際理解・交流の推進

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
具体的施策 海外の女性情報収集及び提供	【事業目的】 海外の女性情報を収集し、情報を提供する。ことにより、男女共同参画社会の実現を目指す。 【事業目標】 蔵書数55種類、リンク数を20にする。	29年度 ー 28年度 ー 予算額 1 施策の方向 1 施策の方向 4 具体的施策 4	C	市)事業推進課
男女共同参画講座のうち、諸外国の状況をテーマとするもの	【事業目的】 男女平等に関する国際理解の推進。 【事業目標】 男女平等意識の浸透を図る。	29年度 55,994千円の一部 28年度 ー 予算額 1 施策の方向 4 具体的施策 4	B	市)事業推進課
市民グループ活動支援事業(アマカス)	【事業目的】 市民グループの活動を支援することにより、男女共同参画の実現を促進。 【事業目標】 イベント部門40企画を支援。	29年度 1,286千円 28年度 <1,864千円> 予算額 1 施策の方向 1 施策の方向 3 具体的施策 3 基本目標 1 基本目標 4 具体的施策 9 基本目標 4 具体的施策 12 基本目標 4 具体的施策 13 基本目標 2 具体的施策 29 基本目標 3 具体的施策 35 基本目標 3 具体的施策 39	B	市)事業推進課

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課
具体的施策 「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物の作成の手引き」の周知	【事業目的】 市が発行する印刷物をユニバーサルデザインに配慮した印刷物の作成の手引きを周知する。 【事業目標】 ユニバーサルデザインに配慮した印刷物の作成の手引きの周知を図る。	29年度 ー 28年度 ー 予算額 1 施策の方向 2 具体的施策 8 基本目標 1 基本目標 3 具体的施策 11	B	市)広報課
行政広報物における表現のガイドラインの周知	【事業目的】 行政広報物の作成において、固定観念にとらわれない、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現を促す。 【事業目標】 市職員が必要に応じて関与できるように、全庁OA等を活用し周知を図っていく。	29年度 ー 28年度 ー 予算額 1 施策の方向 2 具体的施策 8 基本目標 1 基本目標 3 具体的施策 11	B	市)男女共同参画課
ラジオ番組「こころのオルゴール」	【事業目的】 マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発 【事業目標】 わかりやすい番組内容より興味をひく話題を提供することにより、市民の人権意識の向上をはかる。	29年度 9,000千円 28年度 <9,000千円> 予算額 1 施策の方向 2 具体的施策 8 基本目標 1 基本目標 3 具体的施策 11	B	市)人権啓発センター

基本目標2

女性への暴力が根絶され、男女の権利が尊重されるとともに、誰もが安心して暮らせる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	44	43	0	0

施策の方向 1 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課						
講座・講演会等による配偶者からの暴力防止に関する啓発	【事業目的】 配偶者等からの暴力(DV)防止と相談窓口周知のため、講座・講演会等により意識啓発を進める。 【事業目標】 配偶者等からの暴力(DV)防止の認識と相談窓口の認知度が高まる。	福岡市DV防止講演会 「加害者の足抜け支援から見たDV・ストーカー事件～DV・ストーカーの現状と解決への道筋～」 講師：小早川 明子氏 (NPOヒューマニティ) 参加者数：111人(130人)	A	こども家庭課						
		<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>29年度 224千円</td> <td>28年度 < 224千円 ></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施策の方向</td> <td>具体的施策</td> </tr> </table>	予算額		29年度 224千円	28年度 < 224千円 >	2	2	1	
予算額	29年度 224千円	28年度 < 224千円 >								
2	2	1								
	施策の方向	具体的施策								
市政だよりやホームページ等を活用した広報、啓発	【事業目的】 配偶者等からの暴力(DV)防止と相談窓口周知のため、様々な機会をとらえて意識啓発を進める。 【事業目標】 配偶者等からの暴力(DV)防止の認識と相談窓口の認知度が高まる。	○市政だより、ホームページ、配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレットの配布を行い、DV防止と相談窓口の啓発を行った。 ・市ホームページへの掲載 ・配偶者暴力相談支援センターカード・リーフレット配布 ・市本庁舎カフェコーナーサイネージでDV防止と相談窓口の周知	B	こども家庭課						
		<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>29年度 100千円</td> <td>28年度 < 100千円 ></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施策の方向</td> <td>具体的施策</td> </tr> </table>	予算額		29年度 100千円	28年度 < 100千円 >	2	2	1	
予算額	29年度 100千円	28年度 < 100千円 >								
2	2	1								
	施策の方向	具体的施策								

1 事業名	2 事業目的・目標	3 事業実績及び予算額	4 達成度	5 事業実施担当課						
外国人母子保健サービス事業	【事業目的】 在住外国人の母子に対するサービスの向上 【事業目標】 引き続き外国語母子手帳の交付を行う。	外国語版母子健康手帳の交付 8か国語 計98冊(125冊) ※乳幼児健康診査時に英語版のアンケート用紙を使用	B	こども発達支援課						
		<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>29年度 —</td> <td>28年度 —</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施策の方向</td> <td>具体的施策</td> </tr> </table>	予算額		29年度 —	28年度 —	1	4	4	
予算額	29年度 —	28年度 —								
1	4	4								
	施策の方向	具体的施策								
保健師等の訪問指導等における外国語通訳業務	【事業目的】 在住外国人に対するサービスの向上。 【事業目標】 引き続き外国語の通訳業務を行う。	保健師等が日本語の通じない外国人家庭を訪問する際、保健相談・指導業務を円滑にするための電話通訳業務 利用件数 54件(60件)	A	こども発達支援課						
		<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>29年度 357千円</td> <td>28年度 < 499千円 ></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施策の方向</td> <td>具体的施策</td> </tr> </table>	予算額		29年度 357千円	28年度 < 499千円 >	1	4	4	
予算額	29年度 357千円	28年度 < 499千円 >								
1	4	4								
	施策の方向	具体的施策								